

市の定住促進対策

市内に住宅を新築(建替えを含む)

基本助成 100万円
(建築費用の10%上限)

市内業者建築加算 30万円
子育て世帯等加算 20万円

最大で150万円

さらに

宅地を取得して新築する場合

宅地取得助成 50万円
(取得価格の10%上限)

合せて最大200万円

※工事契約等の前にご相談をお願いします。

買賃住宅家賃助成等、他の制度もありますので、詳しくは市HPをご覧ください。
までお問合せください。

◎定住応援課 定住推進係 [内線 212、213]

また、専用のホームページを開設して、全国の移住希望者に、移住支援情報や空き家情報等を発信することも、問合せにも応えています。

充実した定住対策

移住推進と併せて、市民の定住支援も重要です。市では宅地を取得した際の助成に加え、平成28年度から住宅を新築した方にも助成を行うなど、市民の定住を積極的に推進しています。また、若者世帯には、民間賃貸住宅等の家賃助成を行っており、これらの定住推進事業について、

昨年度は59人の方が制度を利用しました。

魅力ある市へ

住んでみたい、住み続けたいまちづくりのため、市では移住定住対策や雪対策、子育て支援など様々な事業に取り組んでいます。こうした取り組みのほかにも、私たち市民がお祭りやイベントなどを通して元気な地域づくり活動を行うこともまた、市の魅力向上につながります。



若葉町に住宅を新築した伊藤さんご一家。尾花沢への想いと定住施策が定住の原動力となっている。

特集

住みたいまち、住み続けたいまち。

定住対策助成制度を利用した方にお話を伺いました。

Q 助成制度のことはご存知でしたか？

A 大工さんから教えてもらいました。2年程前から家を建てることを考えていて、宅地購入に対する助成は知っていましたが、建物に対する助成はちょうど建築の年から始まりました。

Q 市内に家を建てようと思った理由は何ですか？

A 自分が生まれ育った土地で今後も暮らしていきたいと思ったからです。子どもにもそのように思ってもらえたらいいですね。

Q 尾花沢のいいところは何かと思いますか？

A おばねの人は人柄がよく、コミュニケーションがとりやすいです。あとは、私自身イベントに参加するのが好きなのですが、おばねはイベントが多いのもいいと思います。



伊藤 卓さん(若葉町)

去年、念願のマイホームを建築。宅地取得と住宅新築の助成制度を利用しました。

ふるさとに対する想いを熱く語ってくれた伊藤さん。尾花沢が好きということが伝わってきました。

移住支援サイト IJU(いじゅう)するなら尾花沢

<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/iju.html>



移住推進協議会では、様々な分野から移住者をサポートします。

本市の移住施策を積極的に推進するため、5月15日に「移住推進協議会」が設立されました。地域を元気にするためにも移住定住対策は市の大きな課題の一つです。

市への移住を推進

子育てや就業など移住を考える理由は様々です。また、移住者には、地域や近所とのつきあい、経済的な面など、不安があることも事実です。多様なニーズに 대응するため設立された協議会は様々な分野の委員で構成されており、移住希望者を多方面からサポートします。また本市に移住された方も委員に含まれ、移住者の視点からもご意見をいただきます。

協議会では事業計画等について話し合われました。今後、空き家登録の拡大や移住体験ツアー等の実施を予定しており、本市への移住に興味がある方、希望している方に尾花沢の魅力伝えていきます。

コーディネーターの移住支援

市では、今年度創設された「定住応援課」が移住定住を推進しています。定住応援課には移住支援コーディネーターがスタッフとして常駐しています。移住希望者へのPRの他、住んでの相談にも対応します。